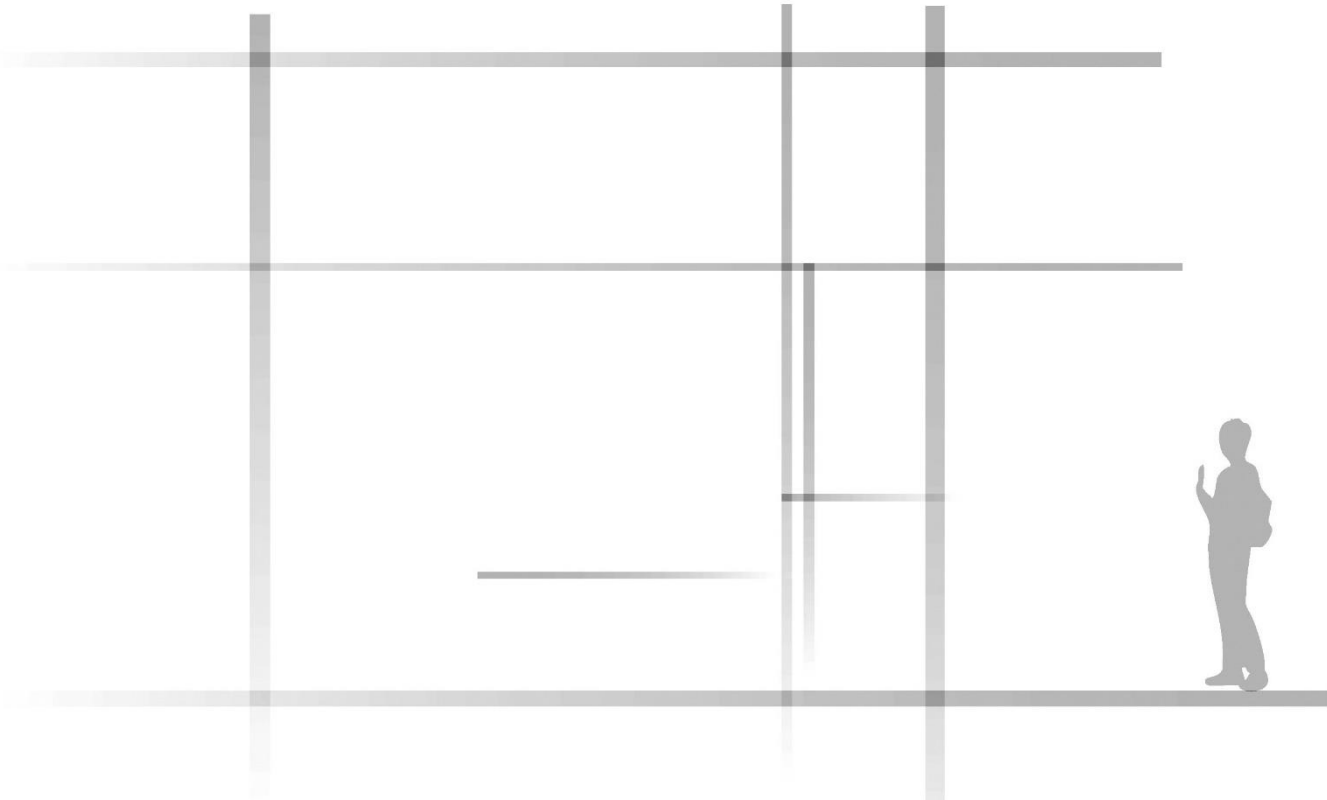


平成28年度 利用者(乗客)向け アンケート調査の結果について



利用者(乗客)向けアンケートの実施(概要)

【再掲】

1 目的

- ・タクシー利用者(乗客)に乗務員アンケートの結果を情報提供することにより、乗降マナーの向上を図る
- ・乗務員の啓発のため、アンケート等を通じて、フィードバックする材料(データ)を収集する

2 方法

- ・京都市内でタクシーに乗車した利用者(乗客)に対して、乗務員から調査票を配布
⇒ 利用者(乗客)が後日ポストに投函
(タクシー事業者2社に協力いただき、配布)

3 配布日

平成29年3月

4 配布数 ・回収数

配布数: 4,000部(2,000部)

回収数: 71部(406部)

回収率: 1.8%(20.3%) ※カッコ内は前年度実績

利用者(乗客)向けアンケートの実施(概要)

【再掲】

5 配布内容((別添:参考資料4参照))

◆ アンケート調査票

(1) 回答者の属性

(2) 普段のタクシーの利用の仕方

(3) タクシー乗降時に気を付けていること

(4) 乗降場所に関するルールの認知状況

(5) 今後の乗降に関する意識について(乗務員アンケートの結果から)

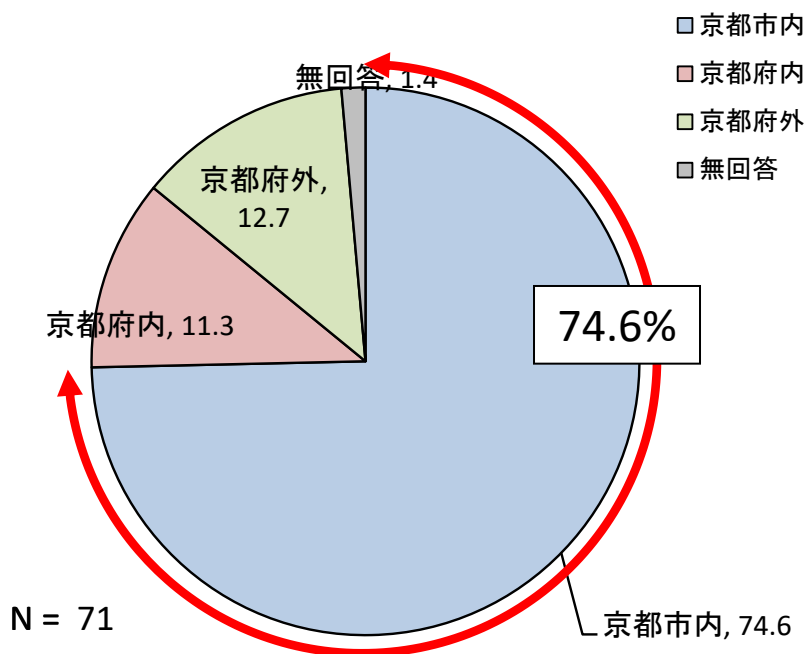
◆ 啓発チラシ

適切な乗降場所の周知

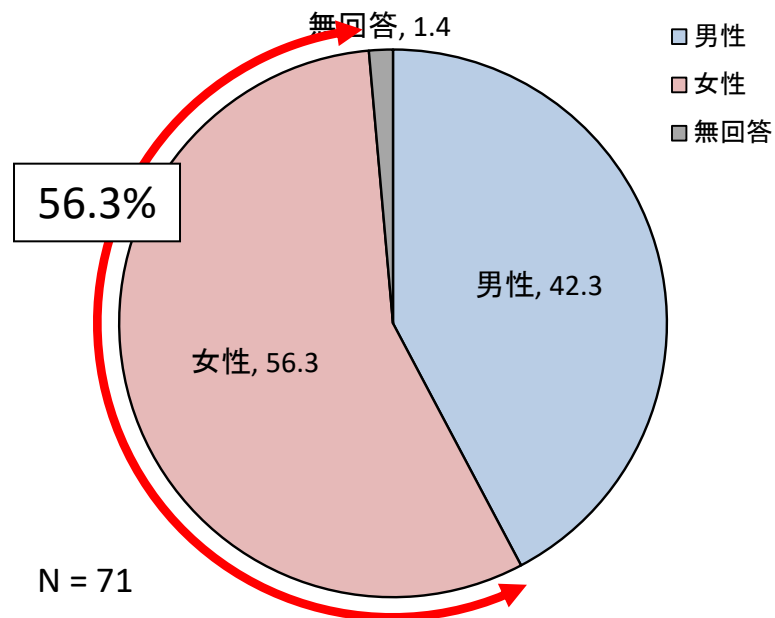
(1) 回答者の属性

居住地と性別

<居住地>



<性別>

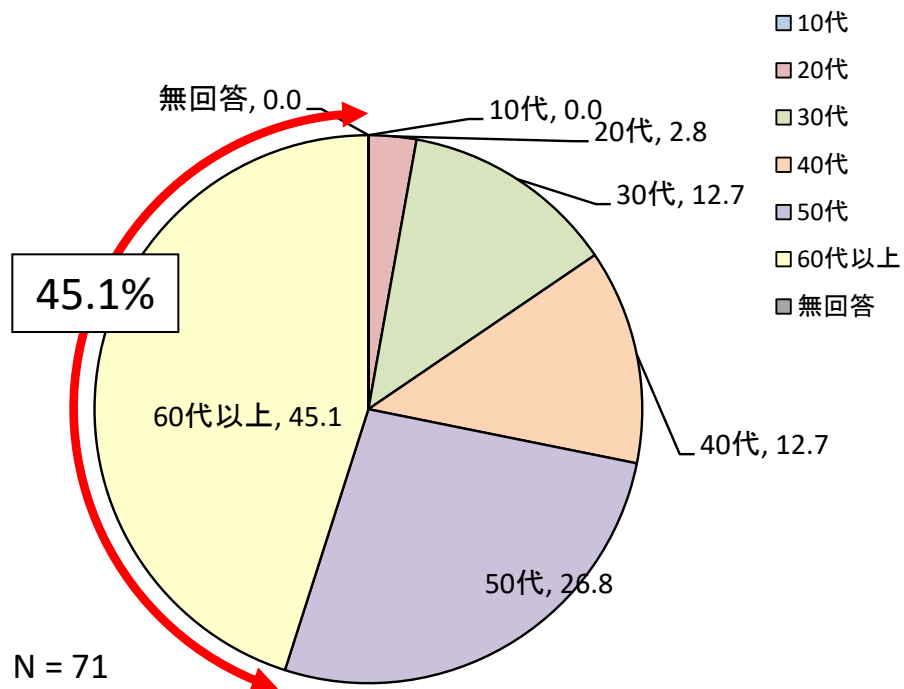


- ・ 回答者の居住地をみると、**京都市内が全体の7割以上**を占めている。
- ・ 回答者の性別をみると、**女性が約6割**を占めている。

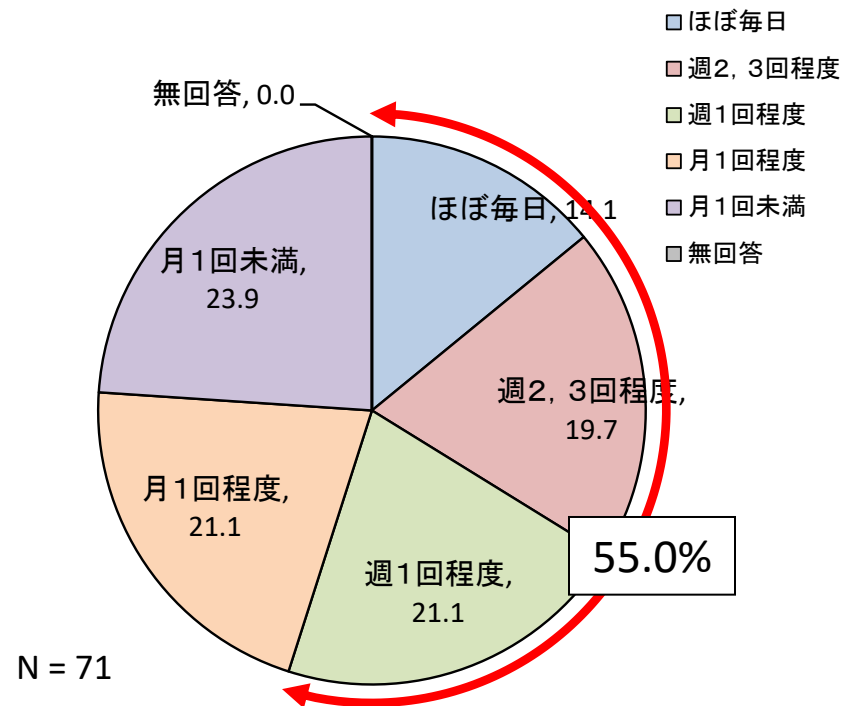
(1) 回答者の属性

回答者の年齢と利用頻度

<年齢>

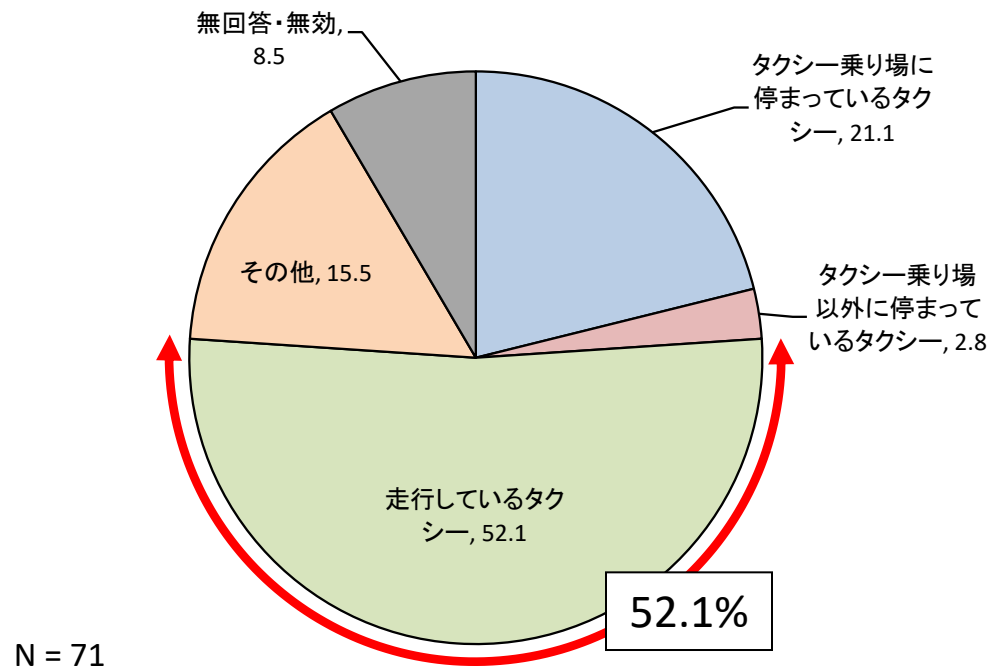


<タクシーの利用頻度>



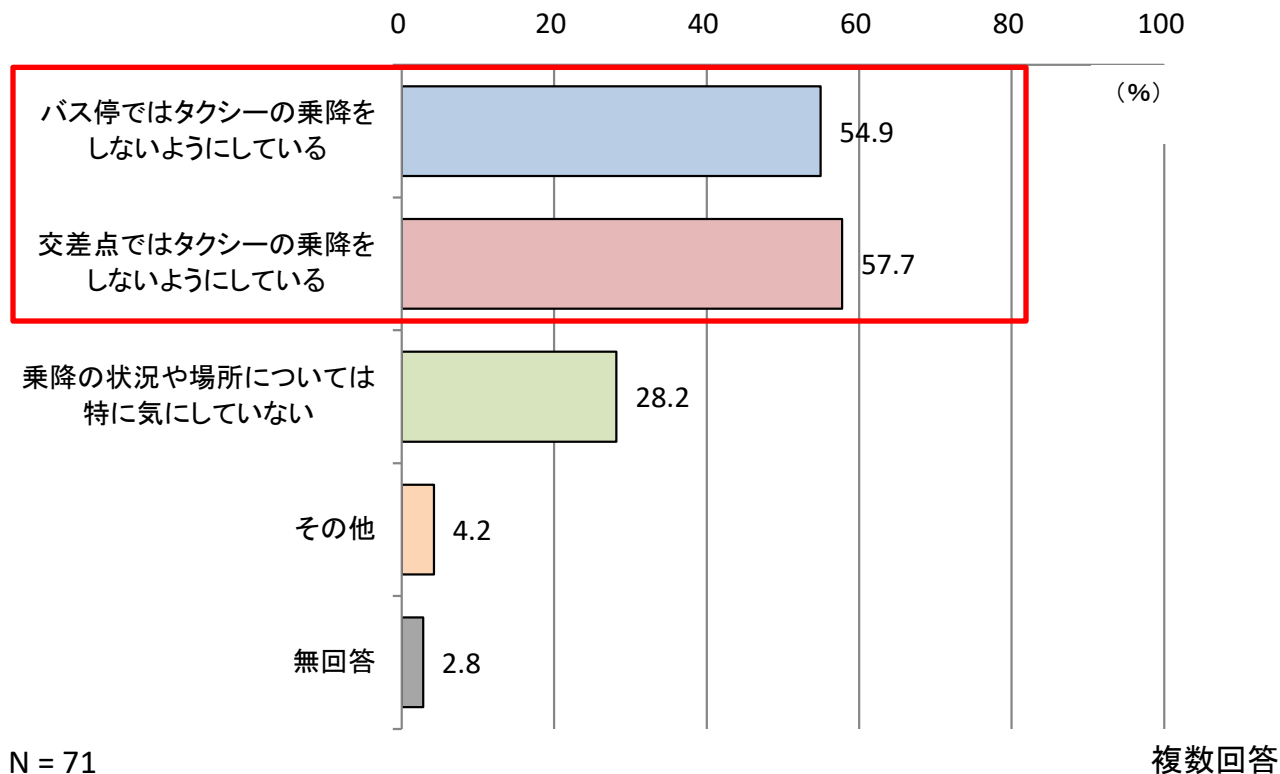
- ・ 回答者の年齢をみると、**60代以上が約5割**を占めている。
- ・ 回答者のタクシーの利用頻度をみると、週1回以上利用している方が5割以上となっている。

(2) 普段のタクシーの利用の仕方



- ・ タクシーを利用している回答者の5割以上が「走行しているタクシーを利用している」と回答している。
- ・ 一方、タクシー乗り場で客待ちしているタクシーを利用している方は約2割となっている。

(3) タクシー乗降時に気を付けていること



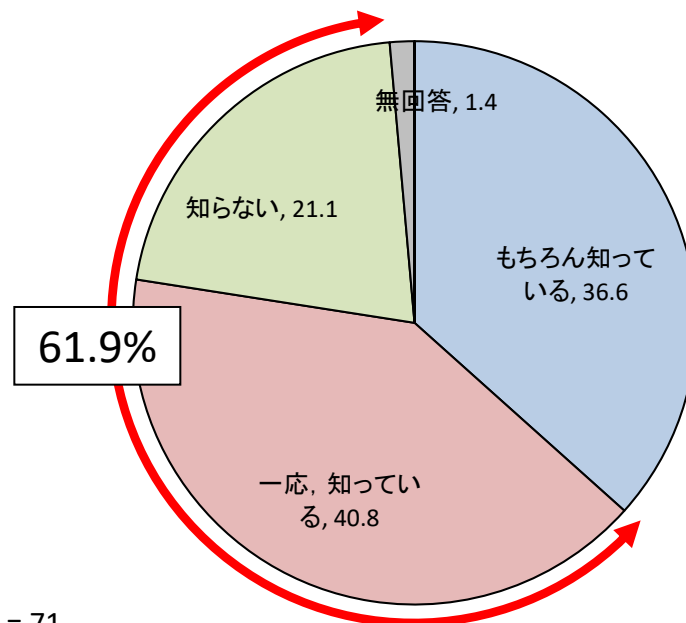
- ・ タクシーを利用している回答者の5割以上が「バス停ではタクシーの乗降をしないようにしている」、「交差点ではタクシーの乗降をしないようにしている」と回答している。
- ・ 一方、「乗り降りの状況や場所を特に気にしていない」人も3割となっている。

(4) 乗降場所に関するルール認知状況

道路交通法の理解

Q

タクシーが、交差点やバス停前で利用客の乗降をしたり、タクシー乗り場以外で客待ちをすることは、タクシー乗務員にとって道路交通法上「違法」です。ご存じですか？



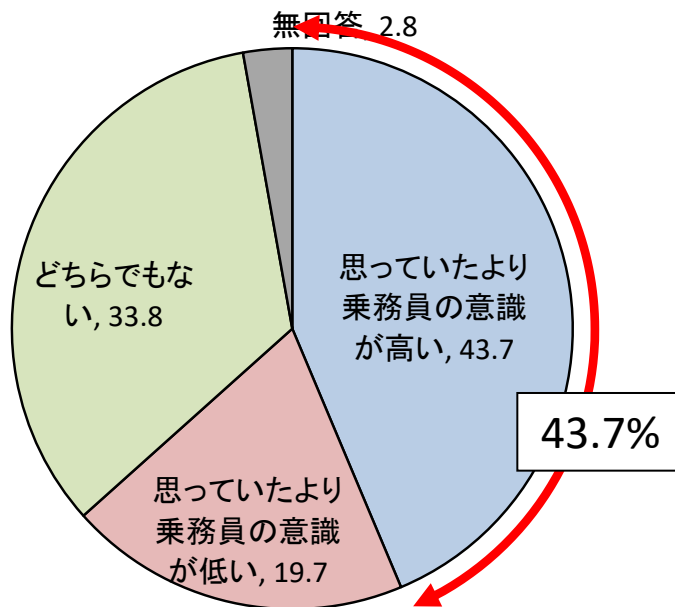
- ・ タクシーを利用している回答者の約2割が「知らない」、約4割が「一応、知っている」と回答しており、違法性の認識が薄い。

(5) 今後の乗降に関する意識について

乗務員の意識について(乗務員アンケートの結果から)

Q

昨年度実施したタクシー乗務員へのアンケート調査の結果では、乗務員の約9割が、利用者に対して「乗り降りしてもらう場所や客待ちする場所について、マナー向上に努めよう」と考えていることについて、どのようにお感じになりますか。



N = 71

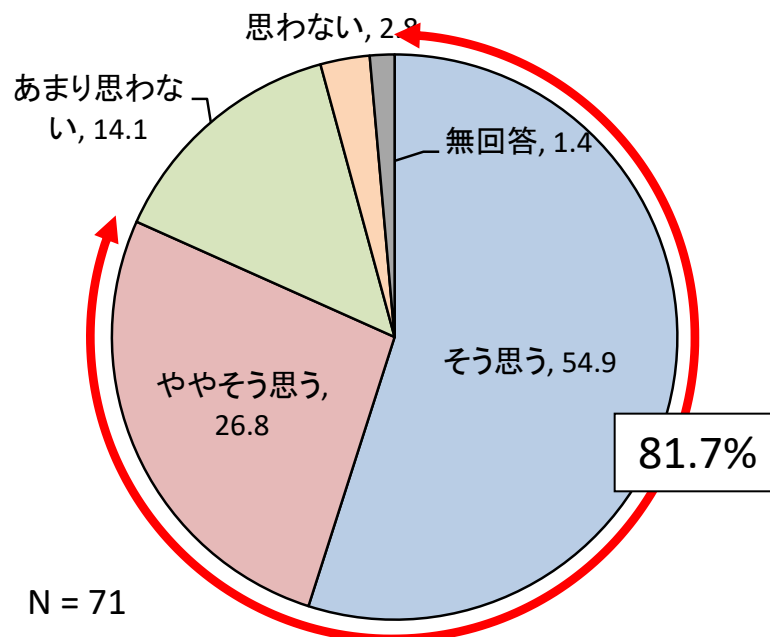
- ・ 約4割の方が「思っていたより乗務員の意識が高い」と回答している。

(5) 今後の乗降に関する意識について

今後のタクシーの乗り降りについて

Q

今後、交差点ではタクシーの乗り降りをしないようにしようと思いますか？



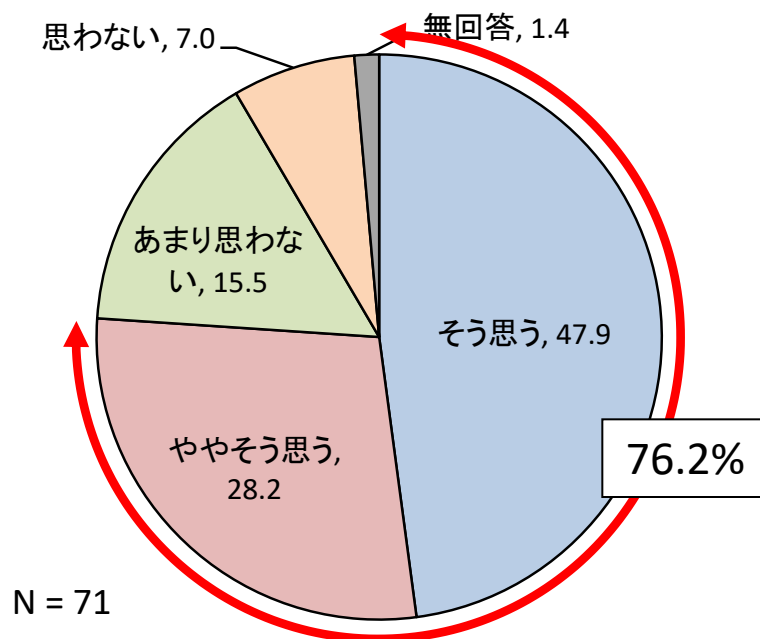
- ・ 「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると、タクシーを利用している回答者の約8割が「今後、交差点ではタクシーの乗り降りをしないようにしよう」と考えている。

(5) 今後の乗降に関する意識について

今後のタクシー利用の仕方について

Q

今後、タクシー乗り場以外の場所で客待ちをしているタクシーは利用しないようにしようと思いませんか？



- 「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると、約8割が「今後、タクシー乗り場以外の場所で客待ちをしているタクシーは利用しないようにしよう」と回答している。